

刷数	該当頁	訂正箇所	誤	正	掲載
2刷	27	10行目	organ at risk: OR	organs at risk: OAR	2020年8月20日
2刷	30	12行目	②組織内照射：組織内照射、腔内照射、表面照射	②密封小線源治療：組織内照射、腔内照射、表面照射	2020年8月20日
2刷	31	19行目	組織内照射は照射方法により腔内照射、表面照射に分けられる	密封小線源治療 は照射方法により 組織内照射 、腔内照射、表面照射に分けられる	2020年8月20日
2刷	31	下から6行目	近年はホウ素中性子捕捉療法・・・移行してきている、	近年はホウ素中性子 捕捉療法 ・・・ (移動) 同ページ内の17行目「定位照射、IMRT (中略)」といわれる。の次の行に移動	2020年8月20日
2刷	37	15行目	inverse square law: IVL	inverse square law: ISL	2020年8月20日
2刷	38	Memoの1行目	IVL	ISL	2020年8月20日
2刷	40	14行目	IVL	ISL	2020年8月20日
2刷	46	1行目	第2半価層 = 2xh、第3半価層 = 3xh、・・・	第2半価層は第1半価層を通過してきたビームを50%にする厚さである。同様に第3半価層は2半価層の厚さを通過してきたビームを50%にする厚さである。光子のエネルギーが単色である場合、第1半価層 = 第1半価層となるが、治療用X線は連続スペクトルなので、第1半価層は第2半価層より小さい。	2020年8月20日
2刷	46	Memo★6	第2半価層については、・・・	単なるn半価層という呼び方もあるが、例えば、2半価層は、第1半価層 + 第2半価層となる。	2020年8月20日
2刷	135	表5-3-1、18行目 「タイプ」「感度容積」の列	タイプ「UD」 感度容積「0.002」	タイプ「SD」 感度容積「0.019」	2020年8月20日
2刷	147	下から2行目	フロスライン、クロスライン	両	2020年8月20日
2刷	153	図5-10-4	図中の「△□◇」	▲■◆ (塗りつぶす)	2020年8月20日
2刷	209	2行目	したがって、I ₅₀ を決定するための深部電離量百分率測定に円筒形電離箱(ファーマ形を含む)は利用できない。	したがって、I ₅₀ を決定するための深部電離量百分率測定には平行平板形電離箱が適する。円筒形電離箱(ファーマ形を含む)は擾乱補正係数の値が比較的小さいと見積もられるR ₅₀ ≧ 4gcm ⁻² の場合に限って利用できるが、標準計測法12ではファーマ形など電離空洞形の大きい円筒形電離箱によるPDI計測は推奨していない。	2020年8月20日
2刷	213	下から3行目	「このような配置法を前壁変位法と呼ぶ。」の後に追加	このような配置法を前壁変位法と呼ぶ。校正深における水吸収線量計測の場合はこれで良いが、PDI計測では前壁厚を水等価厚に変換した厚さだけ水面から浮かせる必要がある。 吸収線量評価で用いる線質変換係数の計算には、前壁厚は物理長を用いているため水等価厚への変換は不要である。しかし、線質変換係数を用いないPDI測定では、電離箱表面が水面に一致した時点で電離箱基準点が前壁の水等価厚の深度にあるためである。	2020年8月20日
2刷	215	式7.2.2	右辺の第3項のa ₁	a ₂	2020年8月20日
2刷	334	下から3行目	Remote After Loading System(RALS)	Remote Afterloading System (RALS)	2020年8月20日
2刷	342	下から5行目	1300MBq	2000 MBq	2020年8月20日
2刷	342	下から4行目	1.8 μ Sv/h	2.8 μ Sv/h	2020年8月20日
2刷	355	文献欄	13) 日本放射線腫瘍学会、日本泌尿器科学会、日本医学放射線学会：シード線源による前立腺永く挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン、第五版、2011	13) 日本放射線腫瘍学会、日本泌尿器科学会、日本医学放射線学会：シード線源による前立腺永く挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン、 第六版 、2018	2020年8月20日
2刷	425	4行目	放射線障害防止法	放射性同位元素等の規制に関する法律 (以下「RI規制法」という。)	2020年8月20日
2刷	425	15行目	http://www.nsr.go.jp/data/000045697.pdf	https://www.nsr.go.jp/data/000045697.pdf	2020年8月20日
2刷	425	17行目	医療法	RI規制法	2020年8月20日
2刷	427	6	Remote control Afterloading System(RALS)	Remote Afterloading System(RALS) ⇒P334の2行目もRemote After Loading System(RALS)となっております。統一した方が良いかと思います。	2020年8月20日
2刷	427	6行目	Remote control After Loading System(RALS)	Remote Afterloading System (RALS)	2020年8月20日
2刷	427	下から4行目	～徹底しなければならない。	～徹底しなければならない。 特定放射性同位元素の場合防護規程の作成も必要となる。	2020年8月20日
2刷	429	14行目	放射線障害防止法	RI規制法	2020年8月20日
2刷	429	下から5行目	0.0124	0.0126	2020年8月20日
2刷	429	Memoの2行目	放射線障害防止法	RI規制法	2020年8月20日
2刷	430	16行目	放射線障害防止法	RI規制法	2020年8月20日
2刷	440	25	1300	2000	2020年8月20日
2刷	440	下から11行目	しなければならない ⁶⁾	しなければならない ⁴⁾	2020年8月20日
2刷	440	下から7行目	1300	2000	2020年8月20日
2刷	440	下から3行目	可能である ⁹⁾ 。	可能である ⁵⁾ 。	2020年8月20日
2刷	440	Memoの最終行	ガイドライン ⁸⁾	ガイドライン ⁷⁾	2020年8月20日
2刷	443	3行目	規制委	原子力規制委員会	2020年8月20日
2刷	443	13行目	を除いてよい。	除いてはならない。	2020年8月20日
2刷	446	最終行	となる。多くの施設で対応に迫られることになるが、	となった。多くの施設で対応に迫られることになったが、	2020年8月20日

2刷	446	文献	4)「患者に永久的に挿入された診療用放射線照射器具(ヨウ素125 シード, 金198 グレイン)の取り扱いについて」(平成15年7月15日医政指発第0715002号)	4)「診療用放射線照射器具を永久的に挿入された患者の退出及び挿入後の線源の取扱いについて」(平成30年7月10日医政地発0710第1号)	2020年8月20日
2刷	446	文献	6)「診療用放射線照射器具を永久的に挿入された患者の退出について」(平成15年3月13日医薬案第0313001号)	削除	2020年8月20日
2刷	446	文献	7) 日本アイソトープ協会：アイソトープ手帳第11版, 丸善出版, 2011	6) 日本アイソトープ協会：アイソトープ手帳第12版, 丸善出版, 2020	2020年8月20日
2刷	446	文献	8) 日本放射線腫瘍学会, 日本泌尿器科学会, 日本医学放射線学会：シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン, 第五版, 2011	7) 日本放射線腫瘍学会, 日本泌尿器科学会, 日本医学放射線学会：シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン, 第六版, 2018	2020年8月20日
2刷	446	文献	9)「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行令第1条第3号の医療用具を指定する件」(平成15年7月15日付文部科学省告示第128号)	8)「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行令第1条第3号の医療用具を指定する件」(平成15年7月15日付文部科学省告示第128号)	2020年8月20日